

# 藤沢市議会 6月定例会

# みなさんの声の実りました！ 子どもの医療費無料化18歳まで拡大決定

藤沢市議会6月定例会が6月28日、全日程を終え閉会しました。この議会は子どもの医療費を18歳まで引き上げる条例改正が提案される等、市民生活に密着した議案、請願、陳情、報告等が審議され、一般質問も行われました。それらの主な案件の審議内容について報告します。

## 子どもの医療費18歳まで無料に 24年（R6）4月から所得制限なしで実施

6月議会で子どもの医療費無料化を18歳まで拡大する条例案が全会一致で可決されました。藤沢市は現在、中学校卒業まで所得制限なしで実施しています。全国でも18歳までの無料化が増えてきているなかで、藤沢市でも、やっとなみなさんの声が市を動かしたことになります。

対象者は「満18歳に達する日以後の最初の3月31日」までの人になっています。高校に進学しない人も、また働いている人も対



象になります。対象人数は約1万2千人で、年齢拡大のための費用は総額、約3億円と試算されています。

**党議員団談話**  
子どもの医療費無料化がやっとな18歳まで拡大されたことは歓迎すべきことです。長い間、市民の粘り強い運動と結んだ議会活動の貴重な成果です。引き続き、県や国が無料化を実施するよう取り組んでいきます。

## 公共料金値上げは中止を！ 党議員団・「値上げ報告」に対し主張

藤沢市は昨年度から検討してきた公共料金の見直し検討の結果を発表しました。施設の使用料415件の内、新たに有料にする施設（ハケ岳野体験教室テント使用料）2件を含めて67件の値上げ、証明書発行等の手数料53件中11件の値上げ、合計78件の値上げになります。総額4838万円の市民負担増になります。

家、市民活動推進センター会議室使用料、青少年会館談話室等の使用料の値上げは見送りしました。

党議員団は値上げの根拠としている「受益負担の適正」の考え方について「基本は公共料金は税金で賄うべきもの」と批判しました。物価高騰のもと7月からは下水道使用料や国民健康保険料の値上げもあり、公共料金の値上げは中止すべきと主張しました。9月議会で条例の改正案が提出されます。

藤沢市議会6月定例会が6月28日、全日程を終え閉会しました。この議会は子どもの医療費を18歳まで引き上げる条例改正が提案される等、市民生活に密着した議案、請願、陳情、報告等が審議され、一般質問も行われました。それらの主な案件の審議内容について報告します。

## 国民健康保険料 9,361円の値上げやめよ！

藤沢市は2023年度の国民健康保険料を9,361円（前年所得比では6,000円）値上げすると発表しました。

厚生環境常任委員会で土屋俊則議員は、県への納付金を引き下げ、市の一般会計からの繰入金を増額し、国の補助金を50%に戻すなどすれば値上げしなくてすむことから、9千円もの値上げではなく、1人1万円以上引き下げ、払いたくても払いきれない高い保険料を払える保険料にすることを求めました。また、支払い能力のない子どもへの均等割の課税はゼロにすることを提案しました。（2億2千万円で実現可能）

所得ゼロ世帯…平均2,990円  
所得100万円～150万円…平均8,683円  
所得200万円～250万円…平均14,305円  
所得300万円～350万円…平均19,386円



法律・生活相談  
毎月10日頃 午後1:30～  
ご希望の方は日本共産党議員団  
控室ご連絡ください  
0466 (25) 1111 (内線) 5649

ご意見・ご要望をお気軽にお寄せください



藤沢市議会議員  
柳沢潤次



藤沢市議会議員  
土屋俊則



藤沢市議会議員  
味村耕太郎



藤沢市議会議員  
加藤彩野

## 日本共産党 藤沢市議会報告

No.312

2023年7月2日（連絡先）Tel (25) 1111（内）5649

（ホームページ）<http://fujisawagikai.sakura.ne.jp/fujisawa>  
（E-mail）[fujisawa.kyosan@gmail.com](mailto:fujisawa.kyosan@gmail.com)

# 市民からの 請願・陳情を審議

「防衛力」強化のための増税方針撤回の意見書を国に求める請願を  
否決とは！（賛成17反対18）

市民から提出された「請願」は、採決の結果、賛成・反対僅差で否決されました。日本共産党は「日本の軍事大国化を保障し、実質賃金が上がらず、物価高騰に苦しんでいる、増税はやめるべき」と賛成の討論を行いました。

それに先立つ総務常任委員会では、請願者の陳述に対して公明党委員から不適切な発言があり、後日、議会運営委員会で紹介議員から「謝罪を含めた対応を求める」と意見が出されました。市民である陳述者に対する質疑については、「配慮する」よう議論をしてきた経過があり、今回の発言はこの議論の経過を踏みにじるものです。今後の対応については、議

会改革推進会議」で議論することになりました。

インボイス制度の実施延期を求める  
意見書も否決（賛成16反対19）

4会派5人の議員提案により、10月実施予定のインボイス制度の延期を国に求める意見書が提案され、討論の後、採決され、賛成16反対19の僅差で否決されました。党議員団は柳沢議員が提案者、賛成討論土屋議員が行いました。

小学校給食の無償化を市に求める陳情は趣旨不承に

この陳情は新日本婦人の会藤沢支部から提出されたもの。物価高騰が続く中で家計応援と子育て支援として市への実施を迫りました。市は「原材料費は保護者に必要な負担」と答弁。国会では「学校給食法は自治体の判断で全額補助を禁止していない」とされています。「義務教育は無償」の立場に立ち実施検討すべきと加藤彩野議員が討論しました。

## 中学校給食を小学校と同じような給食に 一般質問 加藤彩野議員



市内中学校で実施されている選択制デリバリー給食の利用率は25～32%を推移し、実施から9年、大きく利用が増えることはありません。デリバリーを頼める上限数は生徒数の32%に設定されていることが明らかになりました。アレルギー対応は「アレルギーが書いてある献立表を全生徒に配っている」との回答で、自身のアレルギーがある日は実質頼めない・選択出来ない事も再確認しました。「全ての生徒に給食を選択できる機会を作っている」と市は繰り返し答弁しますが、注文上限も低く、アレルギー対応も無い事は明らかな矛盾です。そもそも給食とは食育・教育活動の一環です。食育のための学校給食の意義が選択制デリバリー給食では十分に全う出来ない事、小学校のような自校式の中学校給食への方針転換を強く求めました。



## 高齢者のシルバーパスの創設を コロナ感染症の実態把握と感染予防策を 一般質問 味村耕太郎議員



藤沢市が行った「高齢者の保健・福祉に関する調査」で「バスやタクシーなどの移動手段の確保」と答えた方が44.8%と外出支援を求める声が増えています。名古屋市敬老パスが外出支援による収入増や公共交通を利用することによるCO2削減など様々な実績をあげていることを指摘し、藤沢市に70歳以上の高齢者の移動のための経済支援である「シルバーパス制度（敬老パス制度）」の創設を求めました。市は「関係部局や関係機関と協議し、総合的な支援策について検討していく」との答弁にとどまりました。

このほか新型コロナウイルス感染症が5類に移行したもとも感染状況を適切に把握することや学校での感染拡大を防ぐための換気対策の徹底や児童生徒、教職員のコロナ後遺症の実態把握を求めました。



## マイナ保険証廃止問題・インボイス中止 問題、自衛隊員募集問題を質問 一般質問 柳沢潤次議員



地方自治体は国の下請け機関ではないことを確認し、地方自治の視点から質問しました。①トラブルが続発しているマイナンバーカードと健康保険証の一体化は中止すべきと主張。国に意見をあげるべきと質問。市は、「国の動向を注視しながら適切な対応を図る」との答弁。第2に、インボイス制度の10月からの導入について中止すべきと質問。市は「インボイス制度の開始に伴う影響について注視していく」との答弁。3点目に、自衛隊員募集について、紙媒体での市民の情報提供はすべきでないとの質問、市は「個人情報保護法では法令に基づく情報提供であっても提供を義務づけられているわけではない」といつつ「自衛隊法施行令120条は法に基づく場合に該当するため、慎重に検討する」との答弁にとどまりました。



### 6月議会での議案・請願・意見書・陳情に対する各会派の態度と結果

条例・請願・陳情書の要旨	市民	公	共	Vi	維	自	ア	We	委員会	結果
小児医療費助成条例の一部改正（18歳までの無料化）	○	○	○	○	○	○	○	○	本会議	可決
藤沢市印鑑条例の一部改正（スマホで印鑑証明がコンビニでとれるようにする改正）	○	○	○	×	○	○	○	○	本会議	可決
「防衛力」強化のための増税方針撤回の意見書を国に求める請願（青年市民2人）	○ <sup>17</sup> × <sup>18</sup>	○	×	○	○	×	×	○	本会議	○ <sup>17</sup> × <sup>18</sup> 否決
小学校給食の無償化を市に働きかけることを求める陳情（新日本婦人の会藤沢支部）	×	×	×	○	×	×	—	—	子ども文教	不承
インボイス制度の実施延期を求める意見書（提案者：原田・大矢・柳沢・有賀・小池の各議員）	×	○	×	○	○	×	×	○	本会議	○ <sup>16</sup> × <sup>19</sup> 否決

共：日本共産党（4人） 市：市民クラブ藤沢（9人＋議長） 民：民主クラブ（8人） 公：藤沢市公明党（5人）  
Vi：Vision ふじさわ（3人） 維：湘南維新の会（2人） 自：自由民主無所属の会（2人） アク：アクティブ藤沢（1人）  
We：We 藤沢（1人） 定数36人  
○：賛成 ×：反対 △：継続 —：該当委員なし